

お食事探訪

第8回

まほろば大和

「食べる楽しみ、作る楽しみを応援しています！」

まほろば大和では、ご利用者アンケートの中に「料理がしたい」という声があり、職員と一緒に巻き寿司作りを行いました。海苔の上に広げる酢飯の量や、具材選びなど慣れた手付きであったという間に巻いておられました。「家で作っていた頃を思い出すことができた」と達成感に満ち溢れた笑顔を見せられました。また、バレンタインメニューではハート型のコロケの提供があり、見た目からも楽しんでいただきました。今後も食事が楽しみの一つになるよう工夫を凝らしてまいります。



作品コーナー

吾郷センター

デイサービスを彩る壁面飾り

ご利用者が干支をモチーフにした壁面飾りを作成してくださいました！毛糸を指でくると巻いたものを少しずつ貼り付け、ハートフルな巳年の飾りが完成！ホールを明るくしてくれています！



大田市生活支援ハウス サンデイズ双葉園

大田サイト

今年も穏やかな一年になりますように！

支援ハウスでは毎年1月に2～3人のグループで川合町の物部神社に神社参拝に出かけます。出かける当日は朝から空模様を気にしつつ、お賽銭やお守りの話題で盛り上がりです。物部神社に到着すると、砂利道で足元が不安定な中でも皆さん力強い足取りで本殿まで向かい、真剣なまなざしで参拝をされました。参拝後は「今年も元気で過ごさせてもらえるようお願いしたわ」と皆さん清々しい表情でした。その後は神社内を散策したり、おみくじやお守りを購入されたりと楽しまれ、足取り軽く帰園されました。今年も穏やかで楽しい一年になりますように...！！



令和7年(2025年)度 経営理念及び事業理念が決定しました。

【事業理念】

吾郷会 経営理念 顧客満足の追求

邑智サイト 「顧客視点での専門的サービスの提供」

●双葉園 ●吾郷センター ●訪問看護ステーションおおち ●吾郷会居宅介護支援事業所

大和サイト 「ご利用者視点のサービス展開」

●ハートランド双葉園 ●マホロバの里 ●ふたばの里

まほろばサイト 「ご利用者視点での生活の質を高めるサービスの提供」

●養護老人ホームまほろば大和 ●ヘルパーステーションまほろば

大田サイト 「自ら受けたいサービスの提供」～みんなのサンデイズ～

●サンデイズ双葉園 ●通所介護サンデイズ双葉園 ●大田市生活支援ハウス

吾郷会事業所

職員大募集中！！

介護士、看護師、調理員、管理栄養士、ケアマネ、理学療法士、作業療法士 職員を募集しています。

各職種とも経験の有無にかかわらず幅広い年代の方を募集しています！まずはお気軽に最寄りの吾郷会事業所までお問い合わせください。

体 Health

●暮らしイキキ 健康ひとくちメモ

生活の質を大きく低下させる

過活動膀胱

「OAB」

◎ 頻尿の大きな原因の一つに

40歳以上の8人に1人が悩んでいるともいわれる「過活動膀胱」。正常な膀胱は脳からの指令によってコントロールされています。しかし、過活動膀胱では膀胱の神経が過敏になり、コントロールを失ったような状態となって、尿が十分にたまっていないうちに、本人の意思と関係なく勝手に膀胱が収縮してしまいます。そのため、トイレが近くなる(頻尿)、夜中に何回もトイレに起きる(夜間頻尿)、急に尿意をもよおし我慢できずに漏れてしまう(切迫性尿失禁)といった症状が現れます。ちなみに、日中に8回以上、または夜間に1回以上トイレに行くようであれば、頻尿といえます。

過活動膀胱の原因はさまざまですが、脳梗塞、パーキンソン病をはじめとした神経の疾患などに伴って起こる「二次性」のものと、生活習慣などが原因で起こる「一次性」のものに分かれます。生活習慣では、肥満や加齢、運動不足に加えて便秘・高血圧・糖尿病などが挙げられます。女性の場合は、出産による骨盤底筋のゆるみも原因の一つとなります。

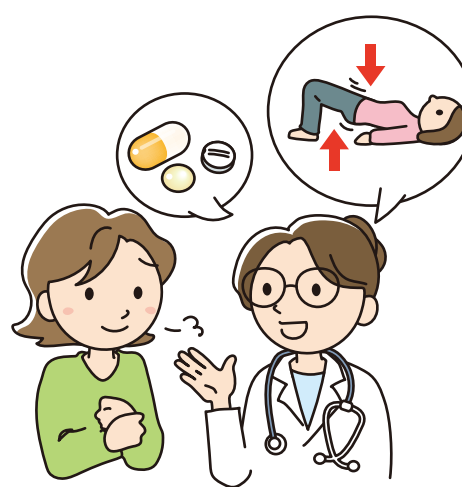


◎ 歳だからとあきらめずに治療を

過活動膀胱の患者は、40代ごろから年齢とともに増加します。生活の質(QOL)を大きく低下させるため、歳だから仕方ないとあきらめたり、我慢したりせず、適切に治療することが大切です。

過活動膀胱の治療は、まず薬物療法を行うのが一般的です。また、膀胱訓練や骨盤底筋体操などで、機能の弱まった膀胱や骨盤底筋を鍛えることも効果的です。

日常生活に支障がある場合は、一人で悩まずに医療機関を受診しましょう。受診する前に、2～3日分くらいの排尿日誌をつけておくことをおすすめします。早めに適切な診断と治療を受けることで、症状を軽減することができます。



暮 Life

●なるほど！納得！！生活情報

ますます手口が 巧妙に

特殊詐欺に注意！

近年、大きな社会問題となっている特殊詐欺。詐欺の手口は常に進化し続けています。

テレビなどでも盛んに注意喚起されていますが、依然として被害は減っていないようです。「自分は大丈夫、だまされない」と思っていた人が被害にあうことも少なくありません。ますます巧妙化する特殊詐欺の代表的な手口をご紹介します。

●オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る手口。→「携帯電話が変わった」「風邪を引いた」には注意！



●キャッシュカード詐欺盗

警察官などと偽って電話をかけ、「キャッシュカード(銀行口座)が不正に利用されている」「預金を保護する手続きをする」などと嘘の手続きを説明した上で、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る手口。最近、被害が急増。→「口座が悪用されている」「キャッシュカードを確認しに行く」には注意！



●架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実として金銭等をだまし取る手口。→「コンビニで電子マネーカードを買って、カード番号を教えてください」には注意！



●還付金詐欺

税金還付等に必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る手口。→「還付金がある」「ATMで手続きができる」には注意！



●預貯金詐欺

自治体や税務署の職員などと名乗り、医療費などの払い戻しがあるからと、キャッシュカードの確認や取り替えの必要があるなどの口実で自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る手口。→「払い戻しがある」「キャッシュカードを取り替える必要がある」には注意！



犯人は自宅の固定電話を狙って電話をかけてきます。特殊詐欺の被害にあわないためには、「犯人と話さないこと」が一番です。知らない番号からの電話には出ないようにしましょう。